

## 社会安全研究科の教員の養成の目標

### <社会安全研究科 防災・減災専攻>

社会安全研究科 防災・減災専攻では、基礎となる関西大学社会安全学部において、地域的・国家的・国際的な防災・減災対策や事故防止、危機管理のための政策立案とその実践について学び、それらを通じて防災・減災のスペシャリストとして安全・安心な社会の創造に貢献できると判断された学生を対象に教員養成を行う。具体的には、法学・政治学、経済学・経営学、社会学、心理学、理学、情報学、工学、社会医学など既存の幅広い学問分野を基盤にして、自然災害及び社会災害の防災・減災政策の立案と実践、危機発生時の社会的合意形成の技術開発、防災・減災のための制度設計などを担いうる高度な専門的知識とシミュレーション能力などを有する人材の育成という教育目標のもと、(1) 安全・安心な社会を創造するために現状を複眼的に分析するとともに、既存の理論を継承・発展させて新しい理論を創造するために必要な高度な専門的知識を活用することができる能力、(2) 災害や事故のリスクを理工学的な視点から定量的に評価するだけでなく、社会科学的な視点からの定性的な評価を加えることによってリスクをより総合的に評価できる手法を開発するとともに、高度な「考動力」を発揮して安全・安心な社会を実現するための政策を提言・立案できる実践的かつ専門的な能力、(3) 社会安全分野に関するさまざまな情報に目を配り、課題を発見するとともに、課題解決に向けて主体的に取り組む態度をそれぞれ身に付けた高度専門職業人としての教員を養成する。また修士の学位にふさわしい、柔軟かつ応用力を伴った教科及び生徒指導の実践的指導力により、学校現場で対峙するさまざまな事象や課題の解決にその力量を発揮し、社会安全問題に関する専門的な学術活動における積極的な対人コミュニケーション等を通じて育まれた豊かな人間性、使命感、責任感、教育的愛情により、学校経営・学級経営等を力強く牽引していくことのできる、将来の管理職候補としての基盤となる資質・素養を育成する。

**(社会安全研究科 防災・減災専攻 中専修免 社会)**

自分の専門分野はもとより、人間システム系、社会システム系、理工システム系の各系から社会安全分野における幅広い知識を修得するとともに、各研究テーマに適合する個別研究指導を受けることにより高度な研究能力を身に付け、また社会安全に関する課題をグローバルな視野に立って自ら考え、法学・政治学、経済・経営学、社会学、心理学、理学、情報学、工学、労働・社会医学などの多角的な視点から問題に切り込み、強いリーダーシップによる課題解決や安全・安心な社会を実現する高度の専門的職業人になるための能力を培うカリキュラムを編成している。中学校専修免許「社会」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)わが国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるわが国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。

**(社会安全研究科 防災・減災専攻 高専修免 公民)**

自分の専門分野はもとより、人間システム系、社会システム系、理工システム系の各系から社会安全分野における幅広い知識を修得するとともに、各研究テーマに適合する個別研究指導を受けることにより高度な研究能力を身に付け、また社会安全に関する課題をグローバルな視野に立って自ら考え、法学・政治学、経済・経営学、社会学、心理学、理学、情報学、工学、労働・社会医学などの多角的な視点から問題に切り込み、強いリーダーシップによる課題解決や安全・安心な社会を実現する高度の専門的職業人になるための能力を培うカリキュラムを編成している。高等学校専修免許「公民」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う、(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。